

FUJITSU Desktop ESPRIMO

ESPRIMO K556/P

BIOS セットアップメニュー 一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Celeronは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.2)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
電源管理 (→P.5)	停電復旧時の動作や、Wakeup on LAN機能などを設定します。
セキュリティ (→P.5)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
終了 (→P.6)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目	
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語 (Language)	
詳細	イベントログ設定	イベントログの表示
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
終了	変更を保存して終了する (再起動)	
	変更を保存して終了する (電源OFF)	
	変更を保存せずに終了する (起動)	

情報メニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット1	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット2	1MB=1024 ² バイト換算
MACアドレス	
UUID	

システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00～23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー ……右の項目に移動 【Shift】＋【Tab】キー ……左の項目に移動
システム日付 2000/01/01～2099/12/31	【Tab】キー／【Enter】キー ……右の項目に移動 【Shift】＋【Tab】キー ……左の項目に移動
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない
ドライブ2	
ドライブ2 □使用しない ■使用する	
タイプ	
モデル	
容量	1GB=1000 ³ バイト換算
ドライブ3	
ドライブ3 □使用しない ■使用する	
タイプ	
モデル	

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	<ul style="list-style-type: none"> ・OSを読み込むデバイスの優先順位を設定※注1 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「起動デバイスを変更する」を参照を参照※注1
起動順位 #n <input type="checkbox"/> Windows Boot Manager <input type="checkbox"/> ハードディスクドライブ <input type="checkbox"/> CD/DVDドライブ <input type="checkbox"/> ネットワーク起動 <input type="checkbox"/> UEFI: [HDDデバイス名] <input type="checkbox"/> UEFI: [CD/DVDデバイス名] <input type="checkbox"/> UEFI: IPv4 [LANデバイス名] <input type="checkbox"/> UEFI: IPv6 [LANデバイス名]	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows 10/Windows 8.1の場合、ご購入時は次のように設定 起動順位 #1: Windows Boot Manager 起動順位 #2: UEFI: [HDDデバイス名] 起動順位 #3: UEFI: [CD/DVDデバイス名] 起動順位 #4: UEFI: IPv4 [LANデバイス名] 起動順位 #5: UEFI: IPv6 [LANデバイス名] ・Windows 7の場合、ご購入時は次のように設定 起動順位 #1: ハードディスクドライブ 起動順位 #2: CD/DVDドライブ 起動順位 #3: ネットワーク起動 ・「Windows Boot Manager」および「UEFI: [デバイス名]」の選択肢は、Windows 7は表示されない ・お使いの状況により、選択肢の表示順序は異なる ・「CD/DVD ドライブ」は CD/DVD デバイスを接続した場合に表示 ・「UEFI: [CD/DVD デバイス名]」は、UEFI 起動可能なディスクをセットしている場合に表示 ・UEFI 起動デバイスから起動する場合は、BIOS 起動デバイスより上位に設定すること ・起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加される ・UEFI アプリケーションが、優先順位を変更することがある
互換性サポートモジュール <input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「セキュアブート機能」が「使用しない」 ・ご購入時は、Windows 10/Windows 8.1の場合「使用しない」、Windows 7の場合「使用する」に設定
ディスプレイ <input type="checkbox"/> 外部アナログ <input checked="" type="checkbox"/> 液晶ディスプレイ	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ・「互換性サポートモジュール」が「使用する」
起動メニュー <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
リムーバブルメディアからの起動 □使用しない ■使用する	リムーバブルメディア (CD/DVD ドライブやUSB メモリなど) からの起動設定
起動時の自己診断画面 ■使用しない □使用する	「使用しない」設定時は「FUJITSU」ロゴを表示
起動時のNumLock設定 ■オン □オフ	Windowsログイン後は前回終了時の状態になる
エラー停止 ■全てのデバイス □キーボード以外 □なし	POSTエラー検出時に起動停止する／しないの設定 ※注2
内蔵カメラ ■使用する □使用しない	搭載機種のみ表示
USBレガシーサポート □キーボード/マウス □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「互換性サポートモジュール」が「使用する」
内蔵LANデバイス ■使用する □使用しない	
ネットワークからの起動 ■PXE □使用しない	標準搭載のLANに対してのみ有効
TPM (セキュリティチップ) 設定	
セキュリティチップデバイス Intel(R) PTT TPM 2.0	・セキュリティチップ非搭載の場合は、 「Intel(R) PTT」と表示 ・TPM 2.0搭載時は「TPM 2.0」と表示
セキュリティチップ □使用しない ■使用する	設定変更は再起動後に有効
セキュリティチップのクリア > Enter	・クリアは再起動後に実行 ・下記の項目が次のように設定されているときに表示／ 選択可能 ・「セキュリティチップ」が「使用する」
CPU 設定	
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に表示
マルチコア ■使用する □使用しない	対応CPU搭載時に表示
Virtualization Technology □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に表示

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Intel(R) VT-d ■使用しない □使用する	対応CPU搭載で、下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ・「Virtualization Technology」が「使用する」
Intel(R) TXT ■使用しない □使用する	対応CPU搭載で、下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「Virtualization Technology」が「使用する」 ・「Intel(R) VT-d」が「使用する」
Intel(R) SGX □使用しない □使用する ■ソフトウェア制御	
シリアルポート設定	
シリアルポート ■使用する □使用しない	
I/O アドレス、割り込み番号 ■3F8/IRQ 4 □2F8/IRQ 3 □3E8/IRQ 4 □2E8/IRQ 3	下記の項目が次のように設定されているときに表示可能 ・「シリアルポート」が「使用する」
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 > Enter	
イベントログの消去 > Enter	
イベントログ □保存しない ■保存する	

注1： ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

注2： 本設定で停止しないよう設定したデバイスのエラーでも、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。ただし、「キーボード以外」でキーボードエラーを検出した場合は、POSTエラーは表示されず、イベントログにも記録されません。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注1
AC通電再開時の動作 □電源ON ■電源OFF □自動 □使用しない	・設定変更は再起動後に有効 ・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注2
時刻による電源ON ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注3 ※注4
時刻 00:00:00～23:59:59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻による電源ON」が「使用する」
日付 00～31	・00…毎日指定時刻に起動 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻による電源ON」が「使用する」

注1：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。

注2：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。

注3：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本製品の電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注4：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード ■使用しない □最初のみ □毎回	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る
自動ウェイクアップ時 ■使用しない □使用する	・LAN / タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」 ・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る
ハードディスクセキュリティ	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合のみ設定可能。再起動後は設定不可。
ドライブ2用パスワード	設定状況を表示
ドライブ3用パスワード	設定状況を表示
ドライブ2用パスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ドライブ3用パスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 □使用しない ■使用する	再起動時は本設定に関係なくパスワード入力の要求なし
セキュアブート設定	
セキュアブート	・設定状態を表示 ・ご購入時は、Windows 10 / Windows 8.1の場合「有効」、Windows 7の場合「無効」に設定 ※注1 ※注2
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」と表示される

□選択肢 ■初期値


設定項目	備考
署名情報の状態	・ 設定状態を表示 ・ 「標準」または「カスタム」が表示される
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	・ 「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・ ご購入時は、Windows 10/Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定 ・ 「使用する」に設定した場合、「互換性サポートモジュール」は「使用しない」に設定される
署名情報のカスタマイズ > Enter	
署名情報の初期化	
Windows & 3rd-party UEFI CA > Enter	
Windowsのみ > Enter	

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 10（UEFIモード）およびWindows 8.1（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」、「セキュアブートに失敗しました。**アクセス拒否**」などのメッセージが表示されます。また、起動メニューから起動デバイスを選択した場合に、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されたり、起動メニューが再表示される現象が発生します。

注2：Windows 10のモード（UEFI/レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 10を起動します。
- 2 タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

Windows 8.1のモード（UEFI/レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
- 2 【】 + 【C】キーを押すか、チャームを表示します。
- 3 「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存して終了する（電源OFF）	
変更を保存せずに終了する（起動）	※注
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・ 言語（Language） ・ システム時刻 ・ システム日付 ・ 互換性サポートモジュール ・ 管理者用パスワード ・ ユーザー用パスワード ・ ハードディスクパスワード ・ セキュアブート機能

注：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。